

平成20年度化学物質管理目標等報告の概要

県では、人の健康や動植物の生息、生育に影響を及ぼすおそれのある 354 種類の化学物質について、環境への排出量を削減するため、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」（以下「条例」といいます。）第 42 条に基づき、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（以下「化管法」といいます。）の届出対象事業者に対して化学物質の管理目標の設定とその達成状況等の報告を求めています。

このたび、平成20年度に事業者から報告があった管理目標の設定と目標の達成状況等について取りまとめましたので、お知らせします。

1 報告状況

平成20年度、条例第42条に基づき、県域^{※1}全体で 1,009事業所（前年度1,034事業所）から、化学物質の取扱量^{※2}及び管理目標、その達成状況について報告がありました（図1）。

なお、報告事業所のうち、41 事業所は化管法届出対象外となったため、目標の達成状況のみの報告となっています。

- ※1 条例の適用外である横浜市及び川崎市を除いた地域をいいます。
- ※2 取扱量とは使用量と製造量の和をいいます。

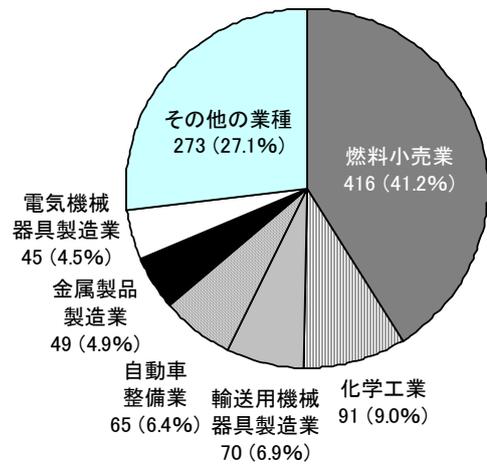


図1 業種別報告事業所数

2 化学物質の取扱い状況

条例に基づく化学物質の取扱量の報告、化管法に基づく環境への排出量、下水道等への移動量の届出を、条例に基づく報告事業所（化管法の届出対象外の事業所を除く。）について集計したところ、平成19年度の県域における化学物質の取扱量288,683トンのうち、製品などとして275,589トン（95.5%）が使用され、環境への排出量は6,026トン（2.1%）でした（図2）。

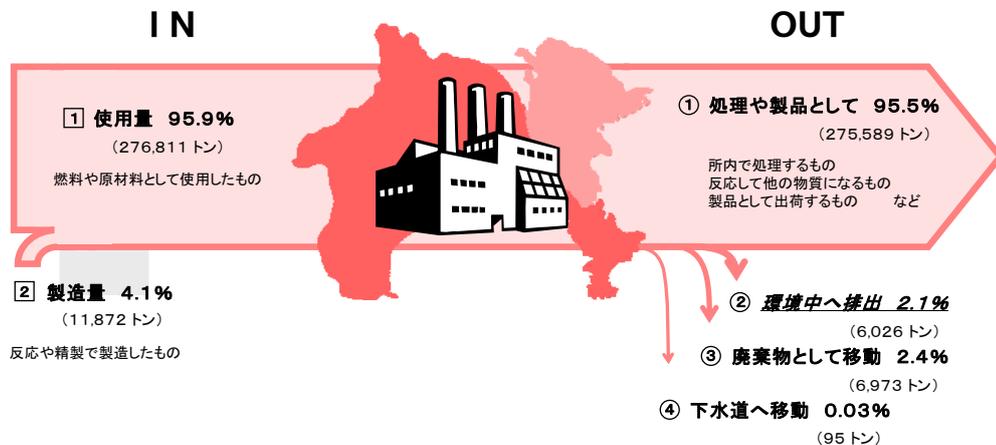


図2 県域における化学物質の取扱い状況

3 平成19年度の化学物質管理目標の達成状況と平成20年度の目標

(1) 排出量^{※3}

平成19年度の管理目標（排出量削減目標）は、平成18年度の排出量から155トン削減するという目標が設定されていましたが、実績^{※4}として491トン削減されましたので、目標を達成しました（図3）。

また、平成20年度の管理目標（排出量削減目標）は、平成19年度の排出量から312トン削減される目標となっています。目標が達成されると、平成20年度の排出量は5,714トンとなり、平成19年度と比較して5.2%削減されることとなります（図3）。

※3 排出量については、平成19年度は化管法の届出を行った全ての事業所の排出量を合計していますが、平成20年度は化管法の届出を行った事業所のうち、条例42条の報告を行った事業所の排出量を合計しています（以下同じ。）。

※4 削減実績は化管法届出排出量を条例42条の報告を行った事業所について集計した値を用いています（以下同じ。）。

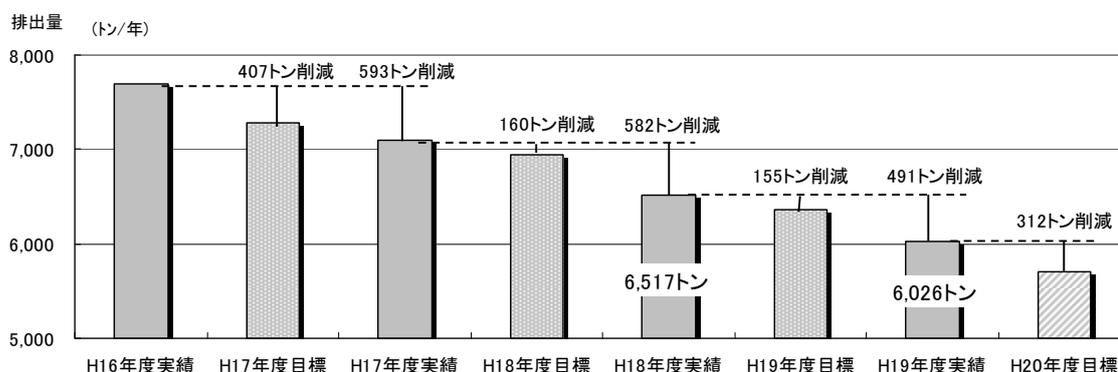


図3 排出量の削減目標と実績

(2) 使用量

平成19年度の管理目標（使用量削減目標）は、平成18年の使用量から1,683トン削減するという目標が設定されていましたが、結果として5,157トン削減されましたので、目標を達成しました（図4）。一方、取扱量は、平成18年度と比較して5,693トン削減されました。

また、平成20年度の管理目標（使用量削減目標）は、平成19年度の使用量から1,217トン削減される目標となっています。目標が達成されると、平成20年度の使用量は275,594トンとなり、平成19年度と比較して0.44%削減されることとなります（図4）。

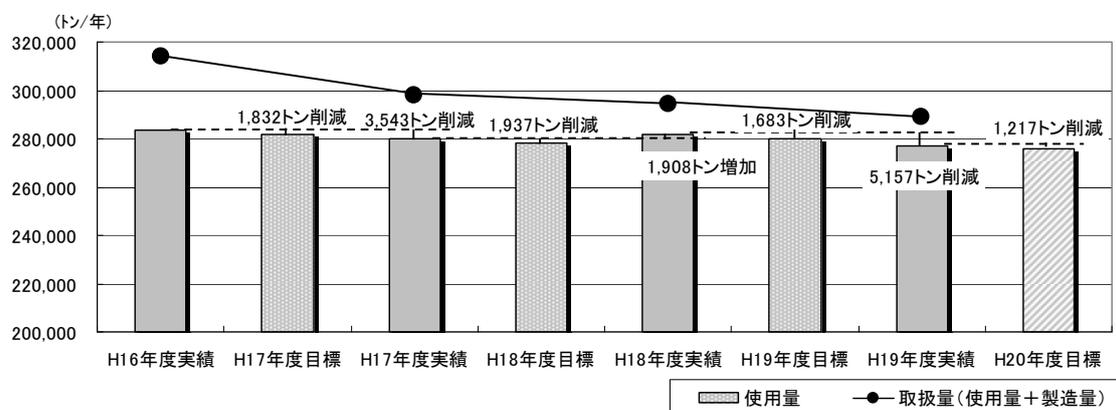


図4 使用量の削減目標と実績

(3) 物質別の管理目標について

ア 排出量

物質別の平成 19 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については洗浄剤や溶剤などとして使用される塩化メチレン、トリクロロエチレンや合成原料や溶剤や塗料などとして使用されるキシレンは目標を達成しましたが、合成原料や溶剤などとして使用されているトルエンは目標を達成しませんでした。

平成 20 年度の目標の設定状況については、削減目標の多いトルエン（181 トン削減）、キシレン（65 トン削減）及び合成原料や塗料として使用されるエチルベンゼン（39 トン削減）の 3 物質で削減目標全体の 91%を占めています。

平成19年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

物質名	H19削減目標 ^{※5}	H19削減実績 ^{※6}	達成状況
① トルエン	121トン/年	63トン/年	非達成
② 塩化メチレン	18トン/年	128トン/年	達成
③ トリクロロエチレン	6トン/年	19トン/年	達成
④ キシレン	6トン/年	188トン/年	達成
● その他の物質	4トン/年	92トン/年	達成
● 全物質計	155トン/年	491トン/年	達成

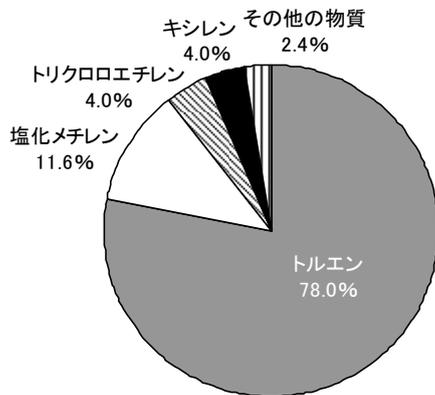
※5 事業所から報告のあった管理目標（削減目標）を集計し、少数第 1 位を四捨五入した値です。したがって、削減目標の各欄を縦方向に合計しても全物質計と一致しない場合及び削減目標の割合を円グラフにした数値と一致しない場合があります（以下同じ。）。

※6 平成 18 年度の排出量（使用量）から平成 19 年度の排出量（使用量）を引いた値について、少数第 1 位を四捨五入した値です（以下同じ。）。

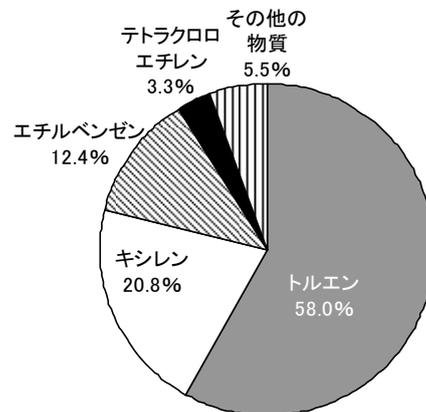
平成20年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

物質名	H20削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H19排出量(実績)	H20排出量(目標) ^{※7}
① トルエン	181トン/年	2,524トン/年	2,343トン/年
② キシレン	65トン/年	1,920トン/年	1,856トン/年
③ エチルベンゼン	39トン/年	794トン/年	755トン/年
④ テトラクロロエチレン	10トン/年	61トン/年	50トン/年
● その他の物質	17トン/年	727トン/年	710トン/年
● 全物質計	312トン/年	6,026トン/年	5,714トン/年

※7 平成 19 年度の排出量（使用量）の実績から平成 20 年度の排出量（使用量）削減目標を引いた値について、少数第 1 位を四捨五入した値です（以下同じ。）。



物質別排出量削減目標の割合
(平成 19 年度)



物質別排出量削減目標の割合
(平成 20 年度)

イ 使用量

物質別の平成 19 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、可塑剤として使用されるフタル酸ビス（2-エチルヘキシル）やトルエンは目標を達成しましたが、界面活性剤などとして使用されるエチレンオキシドや塗料の添加剤として使用される有機スズ化合物は目標を達成しませんでした。

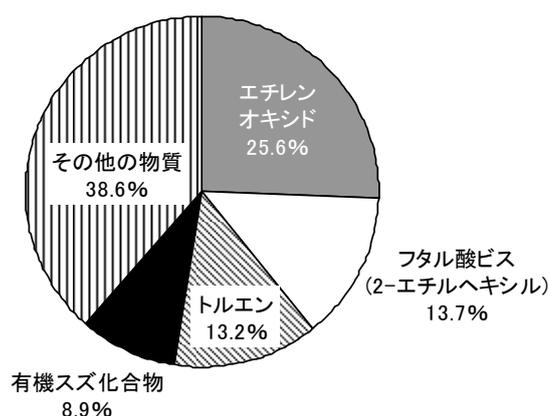
平成 20 年度の目標の設定状況については、削減目標の多いフタル酸ビス（2-エチルヘキシル）（438 トン削減）、界面活性剤などとして使用される無水マレイン酸（202 トン削減）及びトルエン（140 トン削減）の 3 物質で削減目標全体の 64%を占めています。

平成19年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

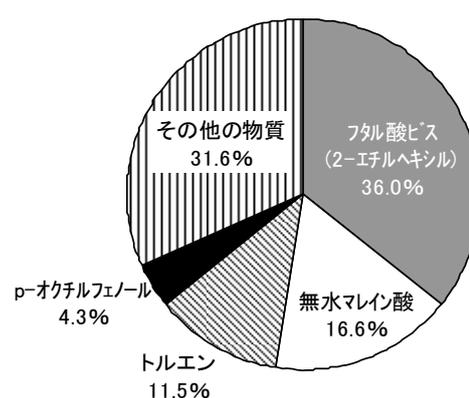
物質名	H19削減目標	H19削減実績	達成状況
① エチレンオキシド	430トン／年	1トン／年	非達成
② フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）	230トン／年	620トン／年	達成
③ トルエン	222トン／年	4,220トン／年	達成
④ 有機スズ化合物	150トン／年	-62トン／年	非達成
● その他の物質	650トン／年	378トン／年	非達成
● 全物質計	1,683トン／年	5,157トン／年	達成

平成20年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

物質名	H20削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H19使用量(実績)	H20使用量(目標)
① フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）	438トン／年	4,243トン／年	3,805トン／年
② 無水マレイン酸	202トン／年	1,113トン／年	911トン／年
③ トルエン	140トン／年	93,721トン／年	93,581トン／年
④ p-オクチルフェノール	52トン／年	105トン／年	53トン／年
● その他の物質	385トン／年	177,629トン／年	177,244トン／年
● 全物質計	1,217トン／年	276,811トン／年	275,594トン／年



物質別使用量削減目標の割合
(平成 19 年度)



物質別使用量削減目標の割合
(平成 20 年度)

(4) 用途別の管理目標について

ア 排出量

用途別の平成 19 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については、「溶剤、塗料など」、「洗浄、界面活性剤など」、「高分子、ゴム、プラスチックなど」で、目標を達成しました。

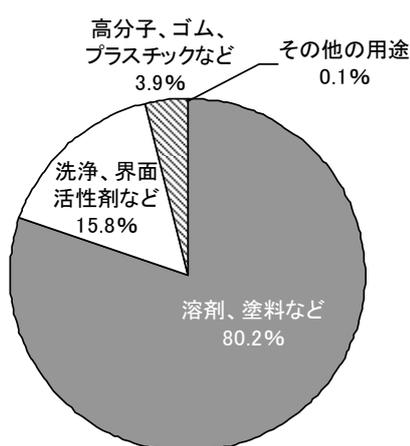
平成 20 年度の目標の設定状況については、「溶剤、塗料など」（286 トン削減）、「洗浄、界面活性剤など」（23 トン削減）及び「高分子、ゴム、プラスチックなど」（2 トン削減）の削減目標が大きくなっています。

平成19年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

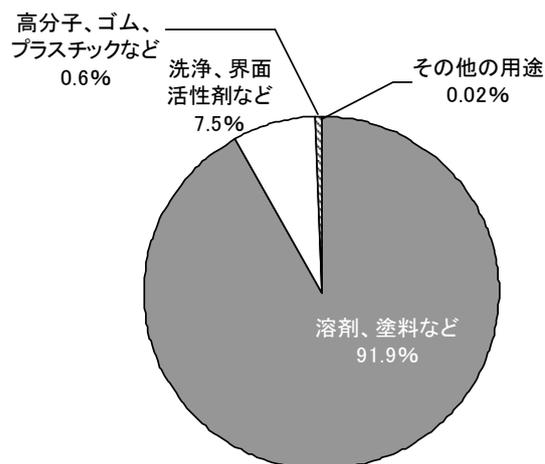
用途名	H19削減目標	H19削減実績	達成状況
① 溶剤、塗料など	124トン／年	298トン／年	達成
② 洗浄、界面活性剤など	25トン／年	154トン／年	達成
③ 高分子、ゴム、プラスチックなど	6トン／年	15トン／年	達成
● その他の用途	0トン／年	24トン／年	達成
● 全用途計	155トン／年	491トン／年	達成

平成20年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

用途名	H20削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H19排出量(実績)	H20排出量(目標)
① 溶剤、塗料など	286トン／年	5,140トン／年	4,854トン／年
② 洗浄、界面活性剤など	23トン／年	418トン／年	395トン／年
③ 高分子、ゴム、プラスチックなど	2トン／年	107トン／年	105トン／年
● その他の用途	0トン／年	361トン／年	360トン／年
● 全用途計	312トン／年	6,026トン／年	5,714トン／年



用途別排出量削減目標の割合
(平成 19 年度)



用途別排出量削減目標の割合
(平成 20 年度)

イ 使用量

用途別の平成 19 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、「溶剤、塗料など」、「めっき、表面処理など」は目標を達成しましたが、「高分子、ゴム、プラスチックなど」、「洗浄、界面活性剤など」は目標を達成しませんでした。

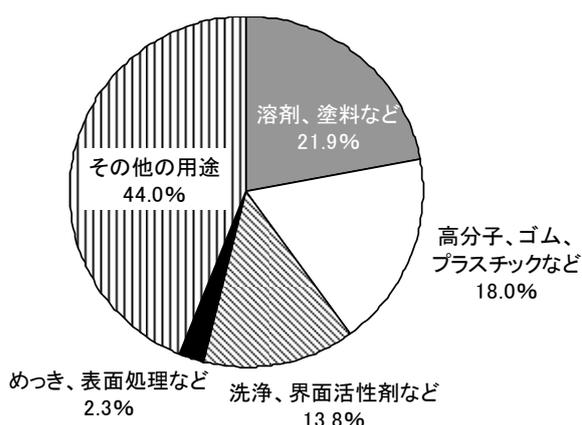
平成 20 年度の目標の設定状況については、削減目標の多い「高分子、ゴム、プラスチックなど」（497 トン削減）、「溶剤、塗料など」（180 トン削減）及び「洗浄、界面活性剤など」（68 トン削減）の削減目標が大きくなっています。

平成19年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

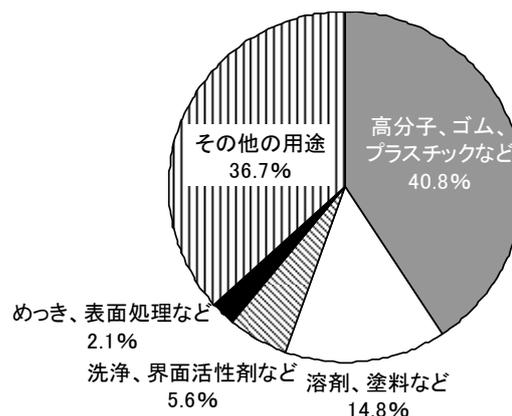
用途名	H19削減目標	H19削減実績	達成状況
① 溶剤、塗料など	368トン／年	5,677トン／年	達成
② 高分子、ゴム、プラスチックなど	304トン／年	-2,864トン／年	非達成
③ 洗浄、界面活性剤など	233トン／年	68トン／年	非達成
④ めっき、表面処理など	39トン／年	428トン／年	達成
● その他の用途	740トン／年	1,848トン／年	達成
● 全用途計	1,683トン／年	5,157トン／年	達成

平成20年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

用途名	H20削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H19使用量(実績)	H20使用量(目標)
① 高分子、ゴム、プラスチックなど	497トン／年	27,100トン／年	26,604トン／年
② 溶剤、塗料など	180トン／年	39,403トン／年	39,222トン／年
③ 洗浄、界面活性剤など	68トン／年	2,833トン／年	2,765トン／年
④ めっき、表面処理など	25トン／年	3,772トン／年	3,747トン／年
● その他の用途	446トン／年	203,703トン／年	203,256トン／年
● 全用途計	1,217トン／年	276,811トン／年	275,594トン／年



用途別使用量削減目標の割合
(平成 19 年度)



用途別使用量削減目標の割合
(平成 20 年度)

(5) 業種別の管理目標について

ア 排出量

業種別の平成 19 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については、化学工業及び輸送用機械器具製造業では大幅に削減されて目標を達成しましたが、ゴム製品製造業及び出版・印刷・同関連産業では目標を達成しませんでした。

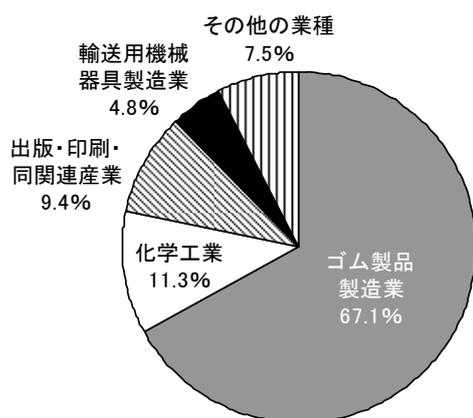
平成 20 年度の目標の設定状況については、削減目標の多い輸送用機械器具製造業（177 トン削減）、ゴム製品製造業（87 トン削減）及び非鉄金属製造業（19 トン削減）の 3 業種で削減目標全体の 91%を占めています。

平成19年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

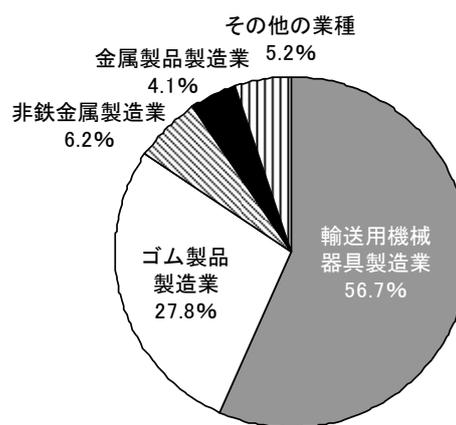
業種名	H19削減目標	H19削減実績	達成状況
① ゴム製品製造業	104トン/年	26トン/年	非達成
② 化学工業	18トン/年	99トン/年	達成
③ 出版・印刷・同関連産業	16トン/年	13トン/年	非達成
④ 輸送用機械器具製造業	7トン/年	316トン/年	達成
● その他の業種	12トン/年	37トン/年	達成
● 全業種計	155トン/年	491トン/年	達成

平成20年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

業種名	H20削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H19排出量(実績)	H20排出量(目標)
① 輸送用機械器具製造業	177トン/年	3,196トン/年	3,019トン/年
② ゴム製品製造業	87トン/年	692トン/年	606トン/年
③ 非鉄金属製造業	19トン/年	242トン/年	223トン/年
④ 金属製品製造業	13トン/年	333トン/年	320トン/年
● その他の業種	16トン/年	1,563トン/年	1,546トン/年
● 全業種計	312トン/年	6,026トン/年	5,714トン/年



業種別排出量削減目標の割合
(平成 19 年度)



業種別排出量削減目標の割合
(平成 20 年度)

イ 使用量

業種別の平成 19 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、ゴム製品製造業は目標を達成しましたが、化学工業、輸送用機械器具製造業及び電気機械器具製造業は目標を達成しませんでした。

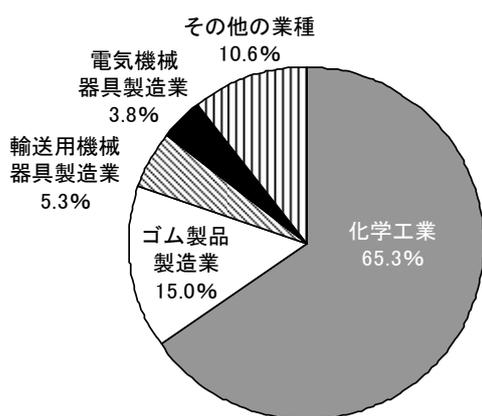
平成 20 年度の目標の設定状況については、削減目標の多い化学工業（612 トン削減）、ゴム製品製造業（447 トン削減）及び非鉄金属製造業（39 トン削減）の 3 業種で削減目標全体の 90%を占めています。

平成19年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

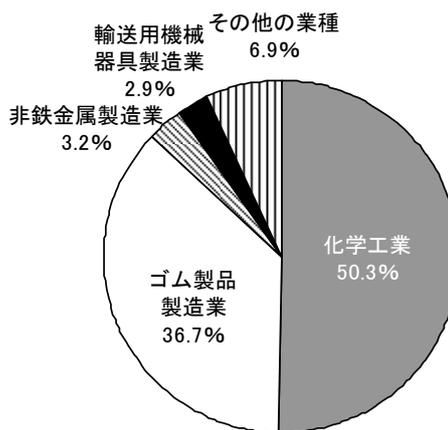
業種名	H19削減目標	H19削減実績	達成状況
① 化学工業	1,099トン/年	-1,759トン/年	非達成
② ゴム製品製造業	252トン/年	412トン/年	達成
③ 輸送用機械器具製造業	89トン/年	1,265トン/年	達成
④ 電気機械器具製造業	65トン/年	-1,023トン/年	非達成
● その他の業種	178トン/年	6,262トン/年	達成
● 全業種計	1,683トン/年	5,157トン/年	達成

平成20年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

業種名	H20削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H19使用量(実績)	H20使用量(目標)
① 化学工業	612トン/年	83,262トン/年	82,650トン/年
② ゴム製品製造業	447トン/年	4,816トン/年	4,369トン/年
③ 非鉄金属製造業	39トン/年	2,841トン/年	2,803トン/年
④ 輸送用機械器具製造業	35トン/年	13,004トン/年	12,969トン/年
● その他の業種	84トン/年	172,888トン/年	172,803トン/年
● 全業種計	1,217トン/年	276,811トン/年	275,594トン/年



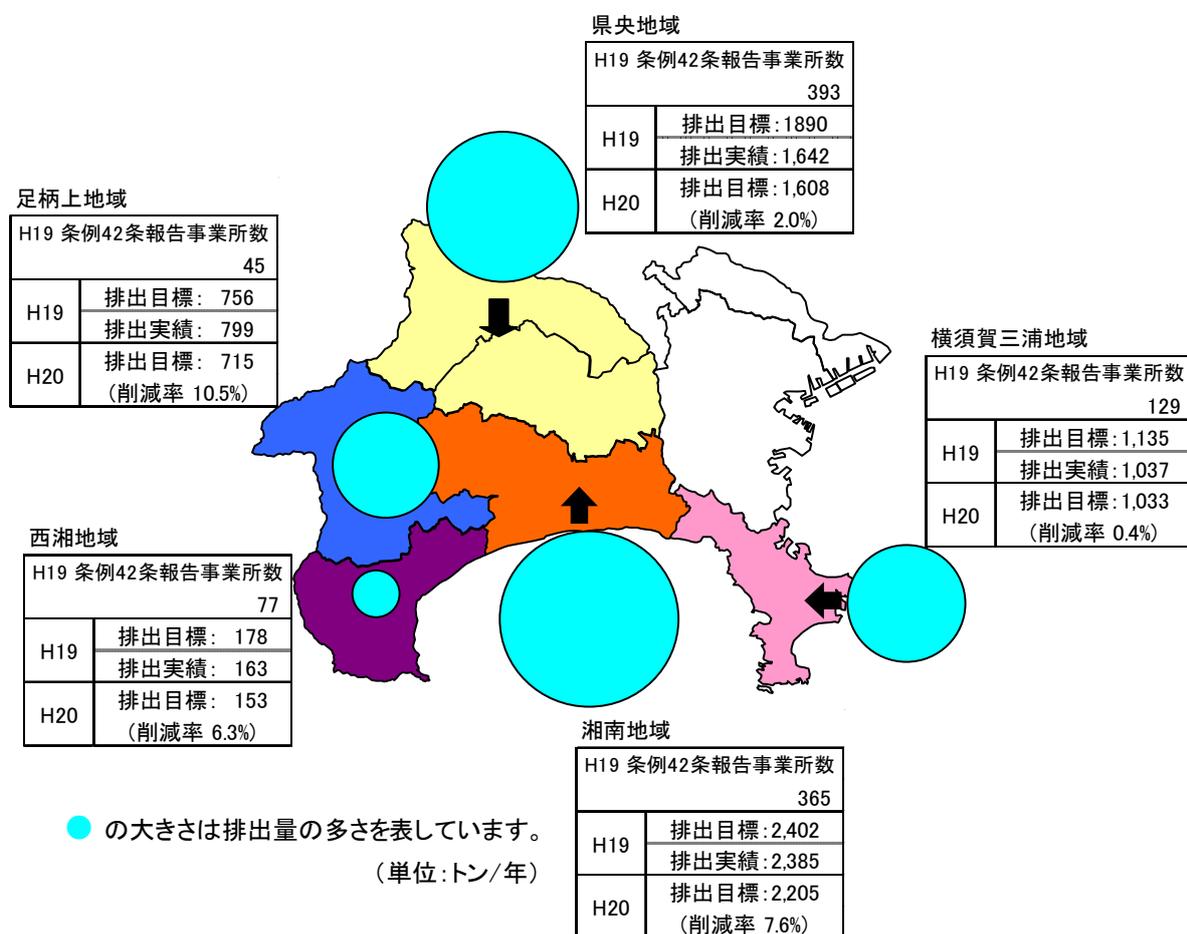
業種別使用量削減目標の割合
(平成 19 年度)



業種別使用量削減目標の割合
(平成 20 年度)

4 地域別の排出状況

地域県政総合センター所管地域別の平成19年度の排出実績及び平成20年度の排出目標などは次のとおりです。1事業所あたりの排出量が最も多い地域は足柄上地域、次いで横須賀三浦地域でした。



※ 図中の削減率とは、平成19年度排出実績に対して、どれだけ削減するかを割合で示したものです。
また、削減率は、各地域毎の事業所から報告のあった平成20年度削減目標の集計値を、平成19年度排出実績で割った値について、少数第2位を四捨五入したものです。